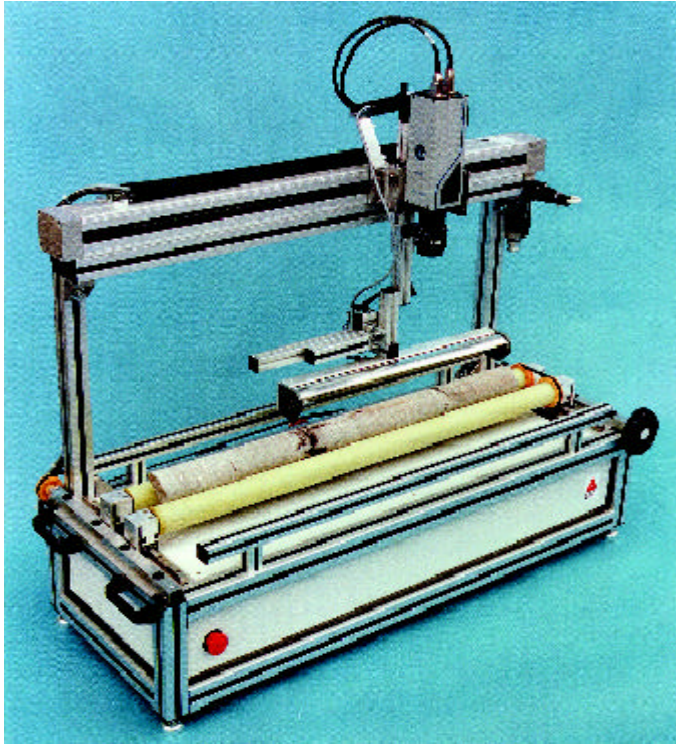


# CORESCAN コア撮影用フルカラーデジタルカメラ



DMT社(ドイツ)のCORESCANは、試錐コアの表面画像を24ビットフルカラー、5000ピクセル/mの高解像度で撮影することのできるデジタルカメラシステムです。

弊社では、システム(ハードウェア/解析ソフトウェア)の販売/レンタル/解析サービスを承ります。貴社で所有されているコアのデータベース化、応力解析のために破壊しなければならないコアの記録、コアのフラクチャ/岩相/変質等の解析など、様々な用途にご利用下さい。

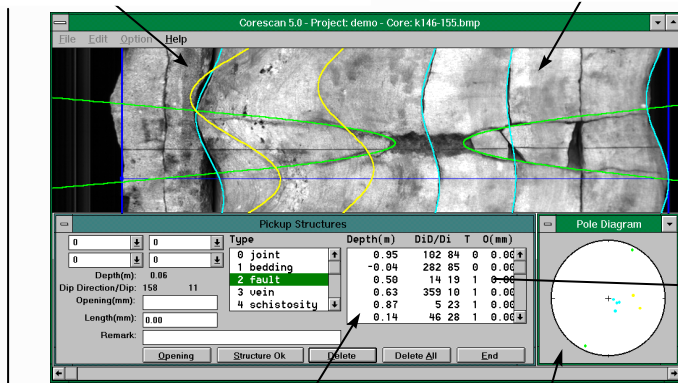
機材は、上の写真の撮影装置とデジタルカメラ用インターフェースカードの入ったDOS・Vパソコン1台から構成されます。

ソフトウェアは、各種補正機構のついた撮影用ソフトウェア"DMT-GRAB"、フラクチャピッキング/解析用の"CORESCAN"、3次元表示/編集/解析用の"CORELOG"、フラクチャ統計解析用の"TECLOG"等があります。

撮影した画像は、BMPまたはTIFフォーマットで記録されますので、PHOTOSHOP等の一般的な画像処理ソフトウェアで編集/処理が可能です。

## CoreScan

マウスクリックによるフラクチャピックアップ ← コア展開メッシュのインポート



これは、CORESCANの画面です。撮影されたコア表面の展開画像を取り込み、フラクチャに沿って3点をマウスで指定することで、フラクチャの深度、走向、傾斜、アパチャー、性状(開口性等)をデジタル値として記載することが可能です。

Depth	DD	Dip	K	A1	A2	A3	A4	L(mm)	O(mm)	Bkdn	Remark	DD/DIP
1	0.953	202	49	4	0	0	0	0.00	0.000	1		
2	0.853	199	49	1	0	0	0	0.00	0.000	1		
3	0.690	3	68	2	0	0	0	0.00	0.000	1		
4	0.122	198	52	1	0	0	0	0.00	0.000	1		
5	0.224	348	77	0	0	0	0	0.00	0.000	1		
6	0.225	223	25	1	0	0	0	0.00	0.000	1		
7	0.276	221	24	4	0	0	0	0.00	0.000	1		
8	0.305	86	21	3	0	0	0	0.00	0.000	1		
9	0.458	353	73	0	0	0	0	0.00	0.000	1		
10	0.471	224	23	4	0	0	0	0.00	0.000	1		
11	0.632	50	61	2	0	0	0	0.00	0.000	1		

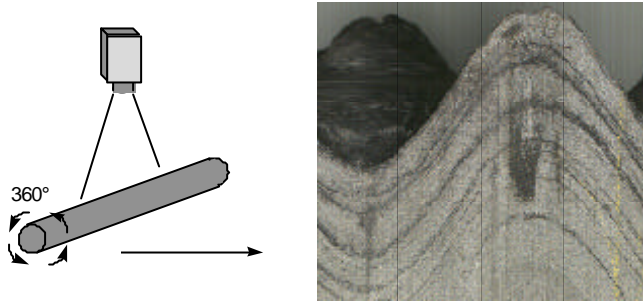
数値データへの自動変換

ポーラダイアグラムへの表示

CORESCANには、円筒のコアを回転させながらその表面を撮影するモードとスラブコアの切断面を水平にスキャンして撮影するモードの2種類があります。

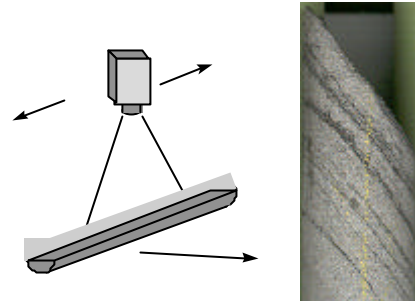
• "unrolled mode"

コアを回転させながらのデータ取得



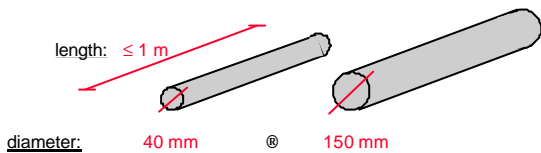
• "slabbed mode"

カメラが移動しながらスキャンしていく

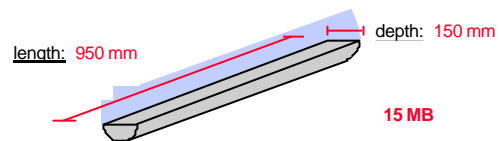
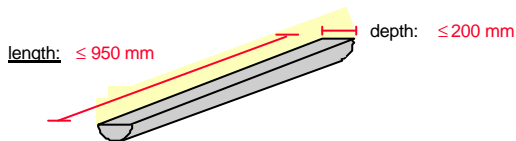
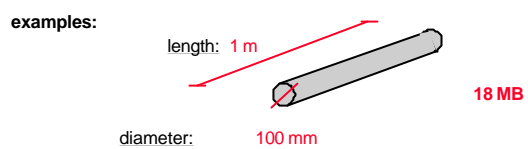


撮影できるコア長 / コア径 ,撮影されたイメージファイル(BMP)の容量は ,以下のとおりです。

• Limit of core dimensions:



• Amount of data per image:



これは ,TECLOGによるフラクチャ統計解析結果の画面です。CORESCANで取得されたフラクチャ情報にポーラダイアグラム ,ローズダイアグラムをはじめとする様々な処理を施すことができます。

